

図書館活動報告

行政支援、議会図書室支援、学校支援について

役所・議員から気軽にレファレンスが届くようになりました。学校を担当している指導課とは年間を通した連携の形ができ、資料提供だけでなく出前授業の申請も多くなってきました。また、高齢介護課・薬剤師会・保健センターなどとの連携強化により、市民への情報提供が様々な角度から行えるようになっていきます。3類の社会保障・社会福祉・教育などの資料への信頼が得られていると感じます。

図書館を使った調べる学習コンクールについて

全国図書館を使った調べる学習コンクールで活動賞をいただきました。初めて地域コンクールを開催しましたが、[地域のことを知るセミナーを行い、セミナーを聞いて疑問に思ったことを調べる+それをまとめる]この3つをセットにした企画を数多く行ったこと・市長が審査員長を務め、地域活性化への取り組みにつながるなどの評価をいただきました。

連携協定について

初年度は株式会社 HCI と図書館の課題をロボットで解決する連携協定、昨年はキハラ株式会社と図書館内にバイオフィリックデザインを取り入れた空間をつくりリラックスと同時にパフォーマンス向上を目指す連携協定を結び、新しい事例をつくることができました。今年度はアカデミック・リソース・ガイド株式会社と紙資料とデジタル資料を融合した情報提供のしくみづくりについて連携協定を結び、市民サービスの向上はもちろん、全国の図書館にひろがることを目指しております。

全国への広がり

泉大津市立図書館でモデルケースをつくった「資産活用セミナー」が、今年度は全国 38カ所の公立図書館へ展開。毎週開催している小学生対象の経営マネジメントゲームが関東、北陸、東北にも広がり、今年度から大阪府岬町、山形県延岡市の高校で定期開催されるそうです。また、昨年は子供の読書活動推進計画を子供たちのワークショップから作り上げましたが、同様の動きが広がっており、視察申し込みも増加しております。

昨年度全国の図書館に呼びかけを行った「旅する図書印帖」の取り組みは、現在関東2館・近畿10館、九州1館が参加しています。旅行先の図書館で郷土資料に触れていただいたとの思いに賛同していただきました。国宝をスタンプにされた館や、期間限定のシールを準備された館もあります。

泉大津市立図書館から様々な方向に新しい取り組みが広がっております。